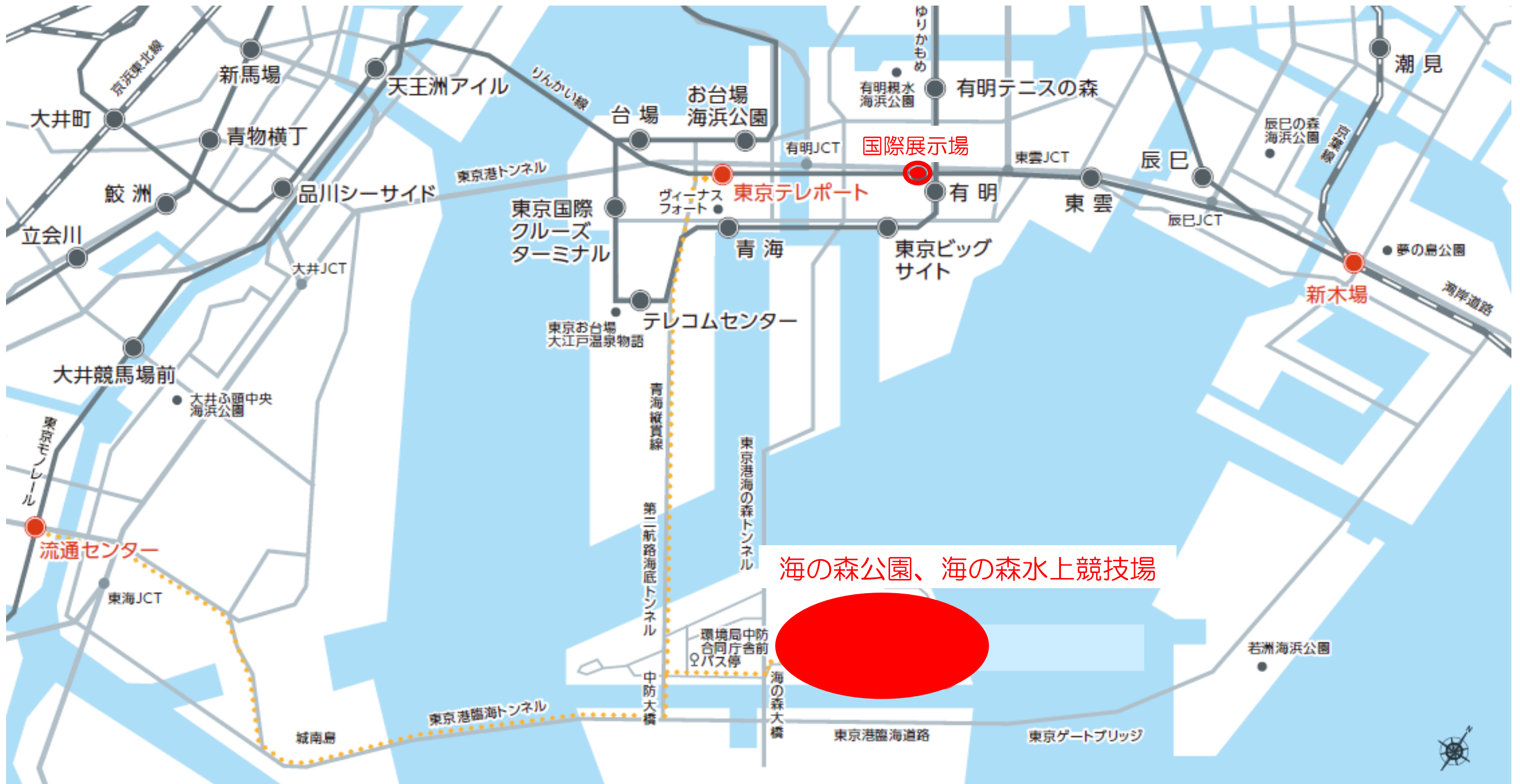


海の森の多様な活用に係る アドバイザー会議

施設説明資料

令和4年2月4日（金）

海の森の位置図



海の森水上競技場・海の森公園（森づくりエリア）の位置図



海の森公園（森づくりエリア）

海の森水上競技場



＜競技団体による利用＞



＜競技体験会＞



＜フィットネスプログラム＞



＜無観客ライブ＞



無観客ライブの映像を放映

※ この部分は、肖像権の関係により、掲載できません。

「TOKYOスポーツレガシービジョン」

○大会の成果を東京のスポーツ振興に活かし、都市の中で根付かせていく姿を示した

- 1 | 都立スポーツ施設の戦略的活用
- 2 | 国際スポーツ大会の誘致・開催
- 3 | スポーツの場を東京の至る所に拡大
- 4 | パラスポーツの振興
- 5 | 東京のアスリートの活躍
- 6 | ボランティア文化の定着
- 7 | 未来へのメッセージ

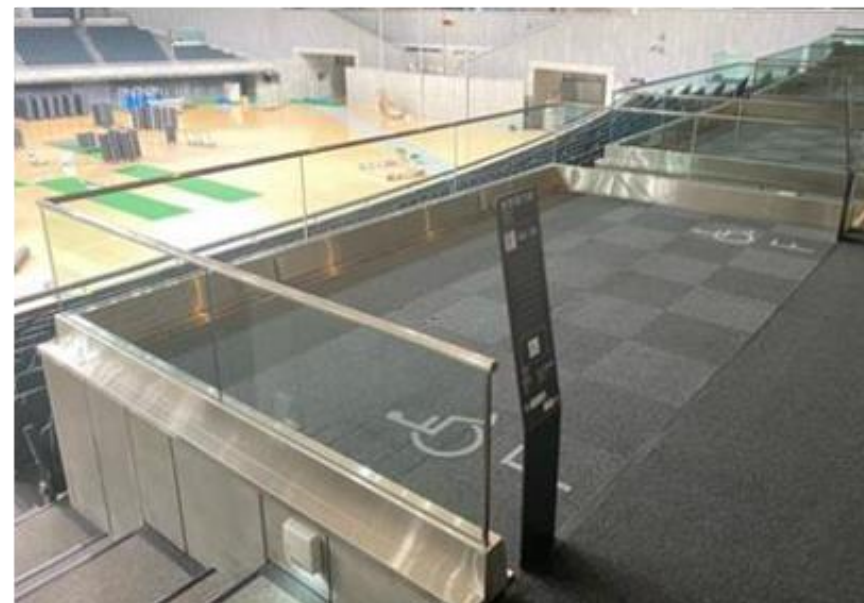
都立スポーツ施設の戦略的活用

○18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮

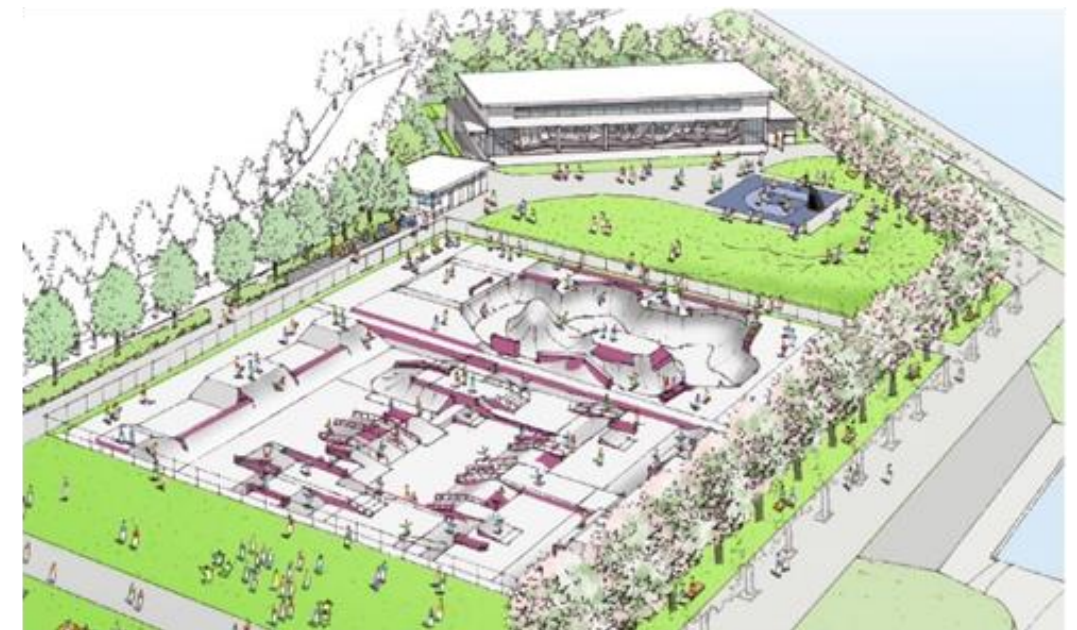
○各施設を最大限活用。多様な活用を推進



新規恒久施設の整備
(東京アクアティクスセンター)



既存施設のバリアフリー化
(東京体育館)



有明アーバンスポーツパーク(仮称)





1 都立スポーツ施設の戦略的活用

各施設の特徴を活かし、多様な活用を推進

大会を契機に整備された最新の国際水準の設備を有する新規恒久施設、伝統ある競技大会の開催などにより長年都民に親しまれてきた既存のスポーツ施設、それぞれの特性を活かし、多様な活用を推進していく

夢の島公園アーチェリー場

広大な芝生広場を活かし、アーチェリーでの利用を推進するとともに、多目的な活用を図るなど、夢の島公園と一体となって都民の憩いの場を提供していく

-  **大会等を通じたアーチェリーの競技力の向上**
(国内大会の誘致、アーチェリー体験教室の開催など)
-  **多様なスポーツでの利用拡大**
(ブーメラン、フライングディスクなど)
-  **都民の憩いの場としての利用**
(地域住民の交流の場としての開放)
-  **芝生広場での各種イベント誘致**
(グルメイベント、ランニングイベントなど)









©Tokyo 2020 / Meg Oliphant



海の森水上競技場

アジア最高峰の国際競技場として、水上スポーツの拠点とするとともに、広大な陸上エリアや東京湾のダイナミックな景観を活かしたユニークベニューとして活用していく

-  **競技大会や合宿を通じたアスリートの強化・育成**
(国内外の大会誘致、強化合宿の受入など)
-  **国内競技の強化拠点化**
(アスリート育成の拠点化に向けた検討)
-  **水上スポーツ等の機会の提供**
(水上レジャー、アウトドア体験など)
-  **ユニークベニュー利用の促進**
(ロケ地利用、企業研修、レセプションなど)
-  **地域と連携したスポーツの場の提供**
(総合型地域スポーツクラブの検討など)
-  **隣接する公園との連携による利用促進**
(音楽イベント、キャンプなど)



©Tokyo 2020 / Kenta Harada



取組①
スポーツでの更なる活用







取組②
多様な活用による新たな体験の提供



取組③
施設・地域との連携

大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場

国際水準のホッケー場として、競技力強化や普及・振興の場とするとともに、多目的球技場として、様々なスポーツやレクリエーションの総合的な拠点にしていく

-  **競技大会や合宿等によるホッケーの競技力向上**
(各種大会や強化合宿の誘致、ホッケー教室の開催など)
-  **多様なスポーツを楽しむ場**
(ラクロス、サッカー、アメフトなど)
-  **スポーツ、レクリエーション利用の拡大**
(フットサル、タッチラグビーなど)
-  **周辺施設や地域住民との連携**
(スポーツツーリズム、ボランティア活用など)



©Tokyo 2020 / Meg Oliphant



海の森水上競技場 今後の主な利用予定

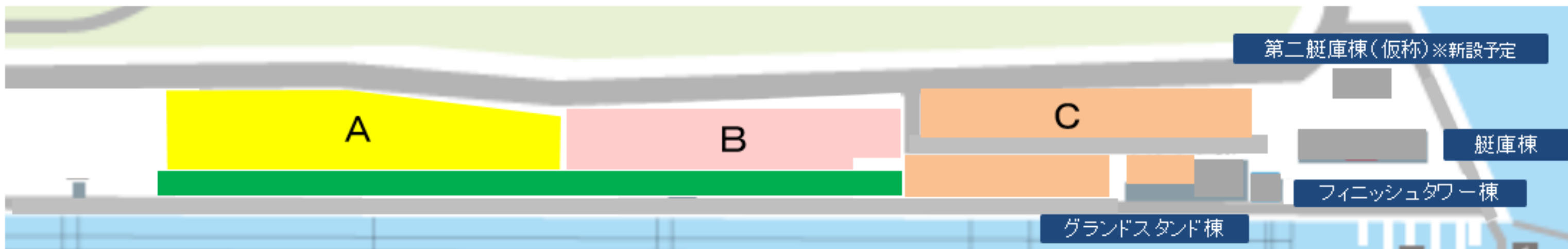
順次再開業を迎える新規恒久施設では、再開業時に都民向け体験会や施設見学会を行います。各施設では数多くの主要大会等の開催が予定されているとともに、年間を通じて様々なスポーツを体験することができます。また、東京2020大会施設を巡る「レガシーツアー」等の実施を予定しています。

新規恒久施設の主な利用予定

● 競技利用 ◆ 一般利用・その他の利用

2021 (令和3) 年度		2022 (令和4) 年度				2023 (令和5) 年度			
10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
<h3>夢の島公園アーチェリー場</h3> <p>● 2022年ナショナルチーム選考会 ◆ 再開業イベント</p> <p>● アジア競技大会最終予選会 ● 東京記念全日本チャレンジ・ターゲット・アーチェリー大会 ● 都民体育大会 ● 国体関東ブロック大会 ● 全日本社会人ターゲット・アーチェリー選手権大会 ◆ レガシーツアー ◆ スポーツの日</p> <p>● 全日本ターゲット・アーチェリー選手権大会 ● 2023年ナショナルチーム選考会 ● 強化大会 ● 2022年度夢の島大会</p> <p>※今後予約調整</p> <p>アーチェリー体験教室等の開催、芝生広場として都民に提供</p>									
<h3>海の森水上競技場</h3> <p>● ポート全日本選手権 ● 国内スポーツ大会 ◆ アウトドア ● アクアスロン大会 ● トライアスロン大会 フェスティバル ● ポート国体関東ブロック大会 ◆ 再開業イベント ● カヌー国体関東ブロック大会 ● カヌー東京都選手権 ● 海の森記念レガッタ ◆ レガシーツアー ◆ スポーツの日 ● 競技団体による練習利用等</p> <p>◆ 親子向けイベント ◆ 大規模音楽イベント</p> <p>海の森公園と連携したイベントを随時開催 ボート・カヌー等体験教室、フィットネス教室等の開催</p> <p>※今後予約調整</p> <p>● 海の森記念レガッタ ● カヌー・アジア選手権</p>									
<h3>大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場</h3> <p>● 高円宮杯ホッケー日本リーグ ● U-10ホッケー品川カップ ● 東日本ラクロスクラブリーグ戦 ● 全日本学生ホッケー ◆ 再開業イベント ● 関東学生ラクロスリーグ戦 ● 全日本ホッケー選手権 ◆ タッチ ● 国体関東ブロック大会 ラグビー ● ホッケー ● 全日本社会人ホッケー 講習会 ● SOMPO CUP ● ホッケーマスターズW杯 ◆ レガシーツアー ◆ スポーツの日</p> <p>※今後予約調整</p> <p>多様なスポーツ利用、ホッケー教室等の開催</p>									

<配置図>



	A	B	C
面積	約20,000m ²	約16,000m ²	約17,000m ²
用途	イベントスペース 臨時駐車場等	駐車場 イベントスペース	イベントスペース 臨時駐車場等
表層	アスファルト (一部、芝とすることを検討中)	駐車場はアスファルトに白線引き その他は芝も検討中	アスファルト (一部、芝とすることを検討中)

※ 施設の配置、面積等は今後変更の可能性があります。

海の森公園（森づくりエリア）



海の森公園（森づくりエリア）整備イメージ



海の森公園（森づくりエリア）エリア別イメージ



つどいの草原

軽スポーツや大型イベント利用を想定



ふれあいの林

デイキャンプ等の
林間レクリエーション
ができる空間



観察と保全の森

自然環境を保全する森として、樹
木や生き物の観察の場として想定



風の森

防潮、防風機能の斜面地の森



ビジターセンター

(建築面積約1000㎡)

展示室、レクチャールーム等を有
し、ボランティアの活動拠点



広場

船着場の目の前にある
平坦地、遊具広場を想定

海の森公園ボランティア

- 平成19年度に苗木づくりボランティアとして発足。
 - 平成20年度から平成27年度に実施された植樹イベントでは、参加者のリーダーとして活躍。
 - 平成28年度以降は、樹林を育てる作業や、他所のイベント等での海の森事業の宣伝を中心に活動。
 - 開園後は、森の管理やガイドウォークなどのボランティアリーダーとしての役割を担う。
- 令和3年11月に拡充のため募集。（82名応募）



植樹イベントでは、参加者のリーダーとして活躍



苗木づくり



樹林地の維持管理活動

海の森倶楽部

開園前から海の森を広く情報発信するとともに、多様なイベントや樹林地管理等への都民参加の機会を提供するため、都、民間企業・団体、NPO等により平成25年度に設置。

東京都

<設置>

<庶務>

<事前協議>

<共催>

【東京都海の森倶楽部】

・意見交換のためのプラットフォーム

◆会員

- ・企業
- ・NPO
- ・これらに類する団体

・意欲を持つ企業等
・公募（欠格条項の規定あり）

◆活動

- ・提案、企画案の実施に向けた意見交換
- ・普及啓発

◆メリット

- ・CSR活動等における海の森の無償使用
- ・倶楽部会員であることのPR

【東京都海の森倶楽部会員事業】

◆主催者・・・東京都海の森倶楽部会員
(単体もしくは複数)

◆事業内容・・・行催事、広報、樹林地等管理

◆実施における便宜

- ・収益性あるもの以外は無償使用
- ・行催事等での企業名の掲出・PR
- ・来場者の便益提供程度の物販

実施

企画

上記の枠組みでのみ、イベント実施可
(倶楽部非会員はイベント実施不可)

■ 倶楽部会員メンバー

- ・ ぴあ(株)・ディスクガレージ(株)等のイベント企画会社、三菱電機(株)等の各種企業、(公財)日本ボーイスカウト東京連盟等の民間団体、NPOからなる51法人・団体で構成。

■ 取組事例

- ・ 企業の従業員やボランティアの参加による草刈り等の樹林地管理や生き物観察等の自然体験イベントを開催
- ・ 自然との一体感あるライブ、ランニング等の野外イベントの開催
- ・ 総実施事業数 55事業、総来場者数 約6万人

【事業名称：COLOR ME RAD TOKYO（ランニングほか）】

- ・ 開催日時：平成26年9月 参加人数：2万人
- ・ 主催：COLOR ME RAD TOKYO 実行委員会
(株)ローソン/ (株)ローソンHMVエンタテイメント)
- ・ 海の森事業PR：海の森ブースを設置。ステージ上やスタート地点での告知等



COLOR ME RAD TOKYO



生きもの調査や育樹作業



ライブイベント